



修徳成業たより

津市立修成小学校

平成28年度 第1号

4月13日(水)(文責 校長)

修徳成業 一徳を修めて業を成す

徳を修めて業を成す、2年目スタート!

桜満開の6日、始業式・着任式・入学式を行い、修成小学校の平成28年度がスタートしました。

ピッカピカ新1年生51名を迎え、全校児童数349名のキラキラとした瞳の輝きで始まります。本年度、橋南中学校区では「小中一貫教育」が本格実施を迎え、「教育改革」の足音が一段と高くなっていくような感じですが、土曜授業・土曜活動では、本年度も中学校区で実施する日程の調整を行いました、月によっては中学校と小学校で別々の土曜日に登校することがあり、兄弟姉妹で休日が異なってくる現状となっております。何かとご不自由をおかけすることになりますが、何卒ご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

さて、どこの学校にも「学校教育目標」というものがありますが、しかしながら、これがなかなか覚えにくく、つつい学校教育目標の存在が薄れがちになることが気がかりでした。

そこで、本校では昨年度より下記の学校教育目標を設定しています。



「徳を修めて、業を成す修成っ子の育成」

校訓でもある「修徳成業」は「徳を修めて、業を成す」と読み、「善い行いをする性格や、人を感化する人格を身につけて、学問や技芸を成し遂げる」ことを意味しています。この校訓は、覚えやすく親しみもあり、崇高な目標で、キャッチフレーズのように覚えやすい目標だと思います。

学校教育目標の「徳」とは、知・徳・体のみならず、人として学ぶべきことから全てを包括していると捉えています。これを「修め」、その学んだことについて、「業＝わざ」つまり、表現や活動を「成す＝実行する」ことができる。そんな「修成っ子」の育成をめざしたいと思います。

また本年度は、人として学ぶべきことから**仁****義****礼****智****信**の五文字で表わされる「五常の徳」として意識していきたいと思っています。

仁：仁は人間が守るべき理想の姿。自分には厳しく周囲には寛容に、かつ正義に基づいた慈愛を持って接することが大切です。

義：義とは、人の歩んでいく正しい道。本当に人を愛し思いやる生き方は、勇気を持って正義を貫いてこそ成り立つものです。

礼：人の世に秩序を与える礼儀礼節は、仁を実践する上で大切なことです。親や目上の人に礼儀を尽くすこと、自分を謙遜し、相手に敬意を持って接することが礼、場合にに応じて自分を律し、節度を持って行動することが節と捉えます。

智：智とは、人や物事の善悪を正しく判断する知恵。さまざまな経験を積むうちに培った知識はやがて変容を遂げ、智となって正しい判断を支えます。

信：信とは、心と言葉、行いが一致し、嘘がないことで得られる信頼。嘘のために一度損なわれた信頼を、取り戻すことは難しいです。信頼は、全ての徳を支えるほどに大切です。

教育のグローバル化やICT化という文言がよく聞かれる昨今、幾分古めかしい目標のようにも思えますが、私自身の母校、大切な「修成小学校」の教育目標として、平成28年度も、職員一同全力で頑張りますので、何とぞご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年度も学級開きを大切に！

4月6日、新担任と子どもたちが出会い、新しい学級がスタートしました。

本年度も教員一同で討議し、「学級開きと学級目標の設定の過程を大事にしよう」と確認しました。

それぞれの学級の仲間と意見を出し合い、みんなでこんな学級にしようという、子どもたちが創りあげる学級目標を設定することが、この1年間の成長を左右するといっても過言ではないほど、大切な教育活動だととらえています。従って、従来の年度より少々、時間をかけて取り組むこととなりますので、しばらくお待ちください。また、ご家庭でも、どんなふうに学級目標を決めているのか、その過程や進み具合を話題にさせていただいてもよいのではないのでしょうか？

また、本校では「認め合い、高め合う子どもたちの育成」を目指して、全員で校内研修に取り組んでいます。

具体的には、算数科の授業を中心に、課題を明確とした授業、子どもたちの思考が深まる授業、子どもたちの学び合いを大切にする授業をめざして、授業改善に取り組めます。

また、「学びのつながり」ができる集団をつくるためにも、すべての子どもが安心して生き生きと学び、学ぶ楽しさを知り、友だちと関わり、誰もが大切にされる存在であることが実感できる仲間づくりに取り組めます。

積み上げできた「修成スタイル」の見直しを進めながら、さらなる学力向上をめざしていきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

給食が始まりました！

1年生は12日から、2年生以上は8日から給食が始まりました。

給食の時間における指導は、教科等の指導の時間と異なり、給食の準備、会食、後片付けなどの一連の活動を通して、繰り返し行うことができます。

また、教科等で使用する教材が食材として献立に活用されれば「食事」という体験を通して、学習の時間に得た知識を具体的に確認したり、深めたりすることが出来ます。

本校では、給食の時間に以下の点を大切に指導にあたります。

- ① 食事のマナーを身に付け、楽しく会食する。
- ② 健康によい食事のとり方が分かる。
- ③ 食事にふさわしい環境を整える。
- ④ 郷土食、行事食を通して食文化に関心を深める。
- ⑤ 感謝の気持ちをもって食べる。

食べることは、楽しいことですし、大切な時間です。ご家庭でも「食」に関する話題にいただければ、さらに子どもたちの興味関心も深まると思います。

学校生活と切り離せない学校給食がさらに充実した時間となりますよう、「食育」に取り組めます。今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本年度の本校職員をどうぞよろしくお願いいたします (☆印は、転入・新任教職員)

【校長】大寺克司 【教頭】山本啓子 【事務職員】落合智美

【1年1組】成田たね子 【1年2組】平野彩香 【2年1組】河合房子 【2年2組】若林秀幸

【3年1組】三田沙知子 【3年2組】鈴木琴里☆ 【4年1組】小倉 司 【4年2組】中島恵梨香☆

【5年1組】辻 由美子 【5年2組】椋樹宏隆☆ 【6年1組】田中博子 【6年2組】前田澄人☆

【あおぞら】亀井みゆき 【あおぞら】原 裕介☆ 【やまびこ】瀧川千穂

【専科】野田幸代 【専科】中川綾乃

【ことばの教室】辻 大輔 山本由理 【ことばの教室(そよかぜ)】廣 健太郎 永井久美子

【養護教諭】中村美幸 【特別支援教育支援員】田村珠美 松島真澄☆ 【初任者指導】新家民子☆

【用務員】西村ますみ 【給食調理員】山本徳子 小宮三津子 村田香澄

【スマイルハートサポーター】笠井洋子☆ 【生きる力育成支援サポーター】市川多加戸☆

【図書館司書】稲垣尚美 【スクールカウンセラー】田嶋恭大☆ 【ALT】ピアジオ・クリスティアノ☆